

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833  
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、  
ご要望をお寄せください。

## 共産党 区長に緊急要望書を提出

# 記録的な猛暑から命守るため、

# エアコン設置や電気代補助を



連日、記録的な猛暑が続く中、熱中症で緊急搬送された人は5万人超で過去最多。死者数も119人に上ります。共産党区議団は8月3日、区長に対して「猛暑から命守るため、エアコン設置と電気代補助を求める緊急要望書」を提出。桑村副区長と榎本総務部長が対応しました。

「暑くて眠れない」「熱中症で点滴に通っている…」

エアコンがないため、この暑さで体調が悪いとの相談が相次ぎました。Aさんは、保冷剤で何とかしのいでいたのが、冷蔵庫も壊れ、熱中症に点滴に通っているとのことでした。共産党区議団は、8月3日、区長宛に「記録的な猛暑から、高齢者、障害者、生活保護制度利用者等の命を守るため、エアコン設置と電気料

金補助を求める緊急要望書」を提出。対応した副区長と総務部長に区民の実態を訴えました。

気象庁「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識」

気象庁は、各地で観測史上1位を

### 記録的な猛暑から、高齢者、障害者、生活保護制度利用者等の命を守るため、エアコン設置と電気料金補助を求める緊急要望書（要望事項）

1. 高齢者、障害者、子どものいる世帯に対して、エアコン設置助成制度と夏季の電気料金助成制度をつくること。
2. 生活保護世帯に対してエアコンを設置すること、電気料金相当額を夏季加算として支給するよう国に求めること。国が行うまでの間、区として法外援護として行うこと。
3. 直ちにできることとして、従来からの生活保護制度利用者や低所得者が社会福祉協議会から「生活福祉資金貸付金」の借り入れ・分割払いでエアコン設置ができ、生活保護では収入認定もされないことを、制度の案内チラシを作り対象者に周知すること。

記録している今夏の猛暑に対し、異例の記者会見。「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識。暑さのピークは9月上旬まで複数回ある可能性もある」と熱中症予防を呼びかけました。

「品川でも7月に94人が熱中症で緊急搬送されました。区内にはエアコンがない世帯や、あっても「電気代が払えない」と使うことができない世帯がたくさんあります。記録的な猛暑から区民の命と健康を守るのは自治体の責務です」と訴えました。

### 荒川区でエアコン設置助成が実現

荒川区では、自宅にエアコンがない世帯がエアコン等を購入した場合に5万円まで助成する制度が今年実現。対象は、①65歳以上のみの世帯②身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳保持者、要介護4以上の方がいる世帯③就学前の子どもがいる世帯で、収入は問わない、使っているエアコンが壊れた場合も対象とのこと。予算は1500万円、300世帯分が組まれました。

品川でもその気になれば、すぐに可能です。災害級の猛暑から区民の命を守るために荒川区のようにぜひ実現をと求めました。

直ちにできることとして、要望事項③で求めたのは、低所得者、生活保護世帯が社会福祉協議会から「生活福祉資金」を借り、36ヶ月の分割払いの制度の周知です。生活保護世帯では、収入認定もされず、返還金は収入から控除する仕組みです。お気軽にご相談ください。

### 全国障害者問題研究会 第52回全国大会 埼玉2018 に参加しました

8月4・5日、埼玉県川越市で行われた「全障研大会」に、石田ちひろ区議と一緒に参加しました。この間、障害者団体の方々と共に、請願運動や他区への調査、議会質問に取り組んできましたが、改めて、どんな障害であってもどんなに重くても、人間らしく生き、発達する権利が保障されるべきと、全国各地で様々な運動やたたかいを頑張っている人がたくさんいることに胸が熱くなりました。



### 羽田新ルート撤回!! 炎天下にもかかわらず、第14回集会・デモ行進に138人

7月22日に行われた「羽田新ルート計画撤回! 第14回集会・デモ行進」に、炎天下にもかかわらず138人が参加。共産党からは白石たみお都議と6名の区議と奥野しんじさん、生活者ネット2人、に加えて無所属議員(都民ファ)が初めて参加。共同が広がっています。区議会でも撤回求める請願に賛成議員が14名に増えました。いよいよ反対する区長・区議会に変える時です。



### 無料 法律・生活相談会

8月22日(水) 5:00~  
鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 電話: 3783-8833  
弁護士さんが対応します。  
どんな問題でもお気軽にご相談ください。